

補助事業番号 2018M-069
補助事業名 平成30年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 和歌山県

1 補助事業の概要

①目的

機械設備拡充補助事業により和歌山県内の中小企業単独では導入することが困難な機器を、当センターに配備し、それらを用いて支援することで、県内中小企業の技術力の向上及び事業基盤の強化に寄与することを目的としています。

②実施内容

平成30年度は、当センターに全有機体炭素計を導入しました。本機器は、様々な成分が混在する排水中においても「有機体炭素濃度」及び「全窒素濃度」を分析することができる機器であり、特に塩濃度の高い排水でも高感度に分析が可能です。従来、塩濃度の高い製造用水及び排水の分析が困難であり、測定不能という場合もありましたが、本機器を用いることにより処理範囲が広がり、さらに高度で迅速な支援が可能となりました。

2 予想される事業実施効果

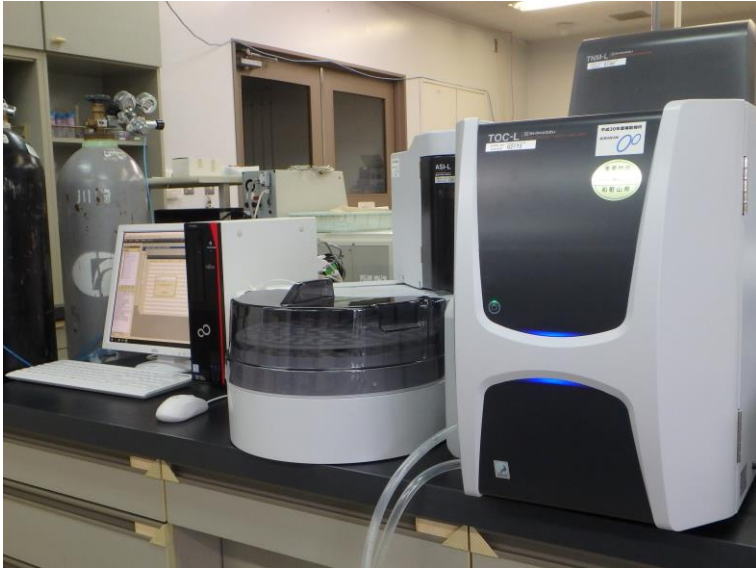
排水処理に必要とされる電気料金や薬剤費用などの「処理コスト」を最適化することにより、製造原価の削減につなげることができます。ものづくり企業の製品開発や品質管理をサポートし、県内企業の利益率の向上並びに製品の高品質化、高付加価値化を達成することで、県内産業の活性化及び競争力の強化が期待できます。

3 本事業により導入した設備

①全有機体炭素計

(URL) <http://www.wakayama-kg.jp/kiki/category/cat8/598.html>

本機器は、排水中に含まれる「有機体炭素濃度」及び「全窒素濃度」を測定することができます。特に、従来測定することができなかった塩濃度の高い液体でも高感度に測定することが可能です。



設置場所：【和歌山県工業技術センター本館3階第2機器分析室】

②本事業に係る印刷物等
機器紹介用ポスター

WINTEC
和歌山県工業技術センター

(公財) JKA 補助事業の機器紹介

(公財) JKAの自転車等機械振興補助事業により導入した機器を紹介
します。(公財) JKAは、競輪・オートレースの収益を広く社会に還元し、
社会貢献を果たすために様々な補助事業を行っています。

**平成30年度導入機器
全有機体炭素計**





株式会社島津製作所製 TOC-LCPH

○機器の概要

- ・水中に含まれる有機物を有機体炭素量 (TOC) として測定する装置です。
- ・全窒素 (TN) の同時測定や、全炭素 (TC)、無機体炭素 (IC) の測定も可能です。
- ・3.5%の塩分や懸濁物を含む試料の測定も可能ですので、ご相談ください。

○仕様

- ・分解法：680℃ 燃焼触媒酸化方式
- ・TOC測定範囲：1～3,000 mg/L (非分散赤外吸収方式)
- ・TN測定範囲：1～3,000 mg/L (化学発光方式)
- ※測定レンジについては要相談

○用途

- ・水質管理
(例) 工業用水、排水、下水処理排水等
- ・プロセス管理
(例) 製造ラインにおける各種行程管理、排水処理工程管理等
- ・研究
(例) 汚泥減容化、埋め立て地浸出水処理、微生物培養等

〒649-6261 和歌山市小倉60 電話 073-477-1271 ファックス 073-477-2880 <http://www.wakayama-kg.jp>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 和歌山県工業技術センター（ワカヤマケンコウギョウギジュツセンター）

住所： 〒649-6261

和歌山県和歌山市小倉60番地

代表者： 所長 和坂 貞雄（ワサカ サダオ）

担当部署： 生活・環境産業部（セイカツ・カンキョウサンギョウブ）

担当者名： 主任研究員 山際 秀誠（ヤマギワ ヨシノブ）

主任研究員 赤木 知裕（アカギ トモヒロ）

電話番号： 073-477-1271

F A X： 073-477-2880

E-mail： wintec-jka@wakayama-kg.jp

U R L： <http://www.wakayama-kg.jp/>